

平日

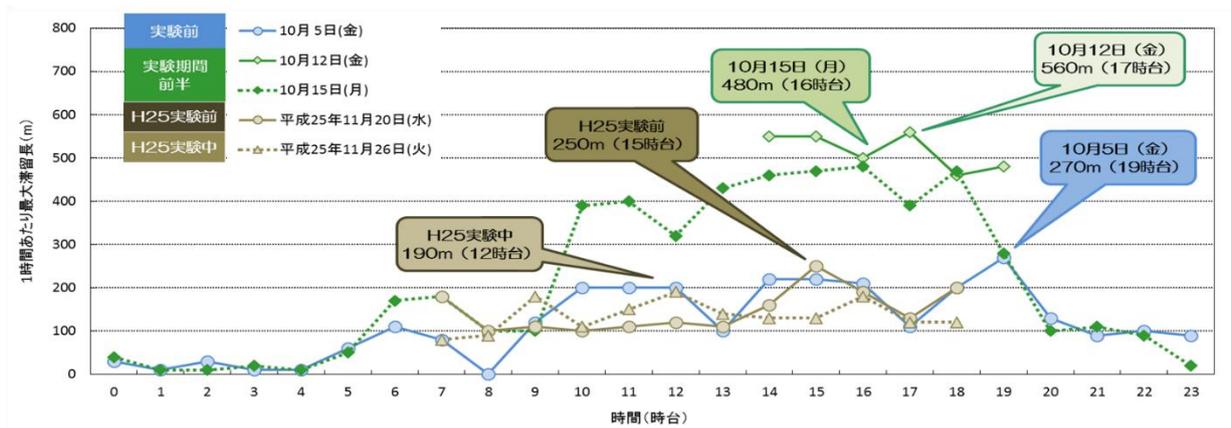
■最大滞留長（難波交差点を起点）

	今回社会実験 (H30)	
	最大滞留長	実験前との差
実験前	270m	
実験前半	560m	+290m
実験後半	540m	+270m

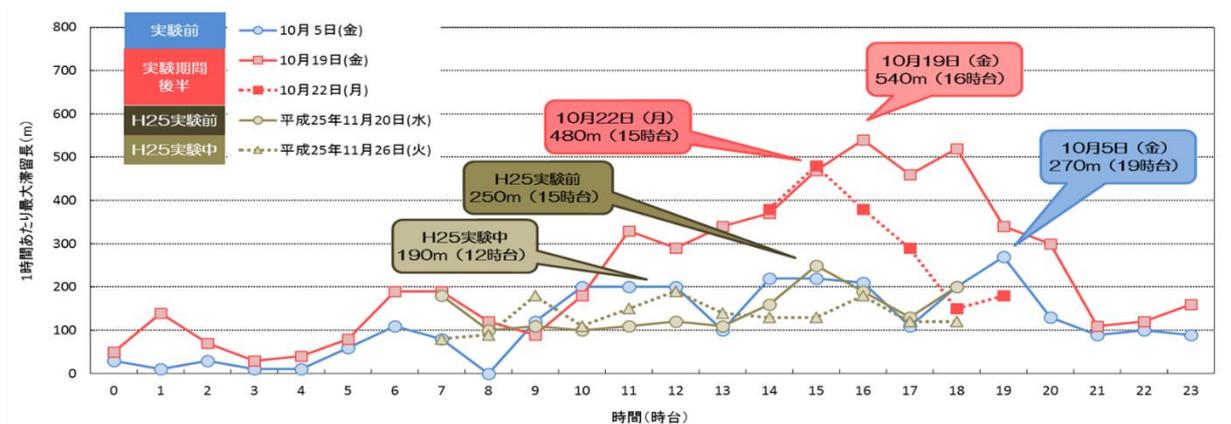
※平成 25 年度の社会実験では、直進・右折車両の交通影響を検証することを主眼に実施しており、本線の直進・右折レーンは、規制変更を行わず側道を閉鎖した社会実験であり、本線における滞留長を計測した結果、実験前と実験中は同程度であった。

	H25 社会実験	
	最大滞留長	実験前との差
実験前	250m	
実験中	190m	-60m

【実験前半：H30. 10. 9～10. 15】



【実験後半：H30. 10. 16～10. 22】



※調査日

- ・ 実験前 平日：平成 30 年 10 月 5 日(金) [24 時間]
- ・ 実験前半 平日：平成 30 年 10 月 15 日(月) [24 時間]、10 月 12 日(金) [6 時間(14 時～20 時)]
- ・ 実験後半 平日：平成 30 年 10 月 19 日(金) [24 時間]、10 月 22 日(月) [6 時間(14 時～20 時)]
- ・ H 2 5 実験前 平日：平成 25 年 11 月 20 日(水) [12 時間(7 時～19 時)]
- ・ H 2 5 実験中 平日：平成 25 年 11 月 26 日(火) [12 時間(7 時～19 時)]

平日

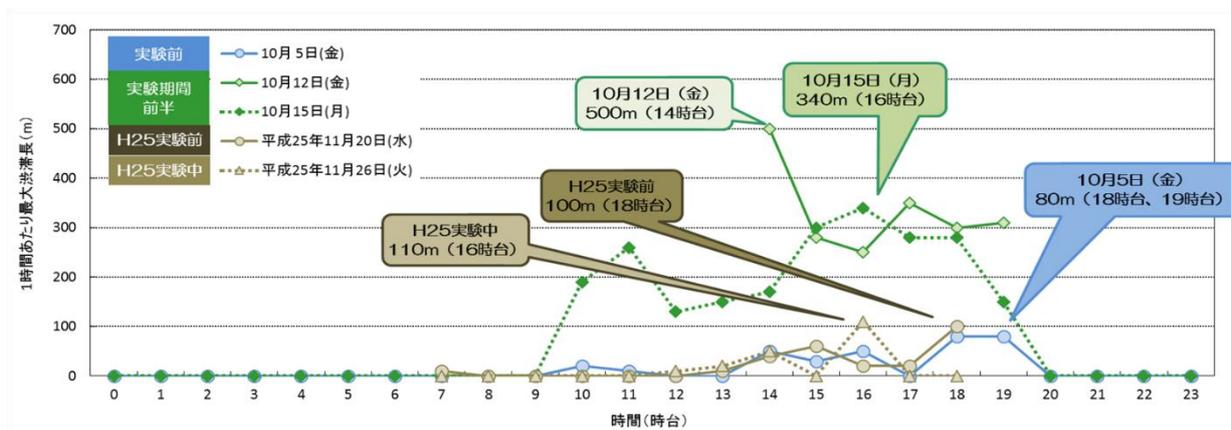
■最大渋滞長（難波交差点を起点）

	今回社会実験 (H30)	
	最大渋滞長	実験前との差
実験前	80m	
実験前半	500m	+420m
実験後半	360m	+280m

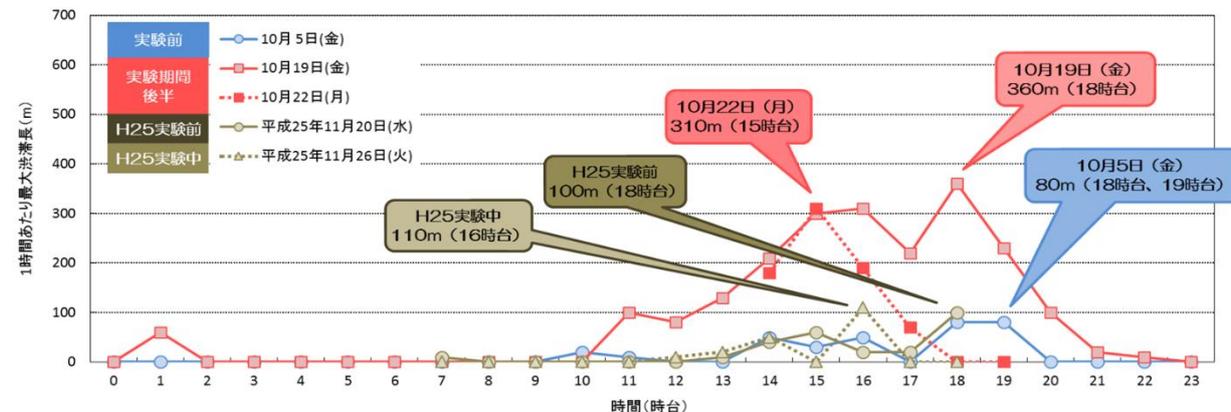
※平成 25 年度の社会実験では、直進・右折車両の交通影響を検証することを主眼に実施しており、本線の直進・右折レーンは、規制変更を行わず側道を閉鎖した社会実験であり、本線における渋滞長を計測した結果、実験前と実験中は同程度であった。

	H25 社会実験	
	最大渋滞長	実験前との差
実験前	100m	
実験中	110m	+10m

【実験前半：H30. 10. 9～10. 15】



【実験後半：H30. 10. 16～10. 22】



※調査日

- ・ 実験前 平日：平成 30 年 10 月 5 日(金) [24 時間]
- ・ 実験前半 平日：平成 30 年 10 月 15 日(月) [24 時間]、10 月 12 日(金) [6 時間(14 時～20 時)]
- ・ 実験後半 平日：平成 30 年 10 月 19 日(金) [24 時間]、10 月 22 日(月) [6 時間(14 時～20 時)]
- ・ H 2 5 実験前 平日：平成 25 年 11 月 20 日(水) [12 時間(7 時～19 時)]
- ・ H 2 5 実験中 平日：平成 25 年 11 月 26 日(火) [12 時間(7 時～19 時)]

平日

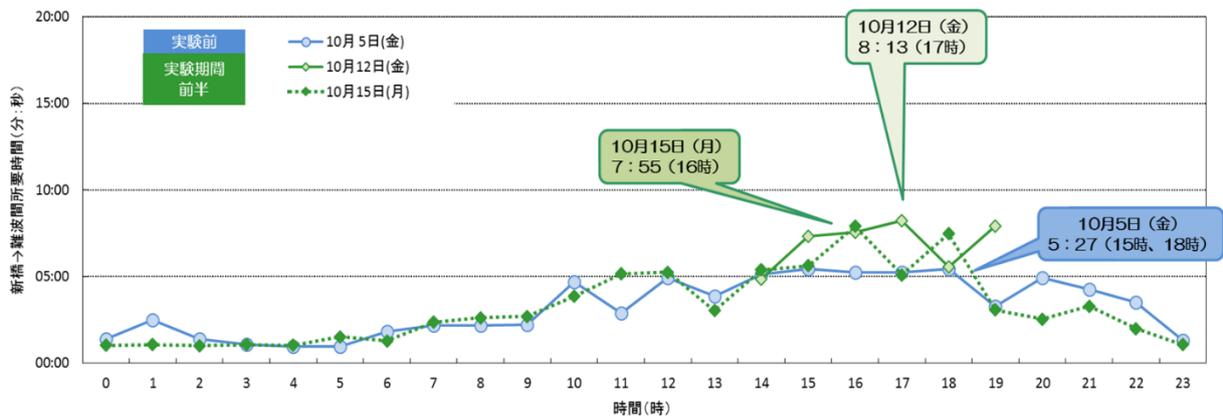
■所要時間

	新橋～難波交差点間		新橋～道頓堀橋北詰交差点間	
	最大所要時間	実験前との差	平均所要時間	実験前との差
実験前	5分27秒		2分01秒	
実験前半	8分13秒	+2分46秒	2分17秒	+16秒
実験後半	7分57秒	+2分30秒	1分56秒	-5秒

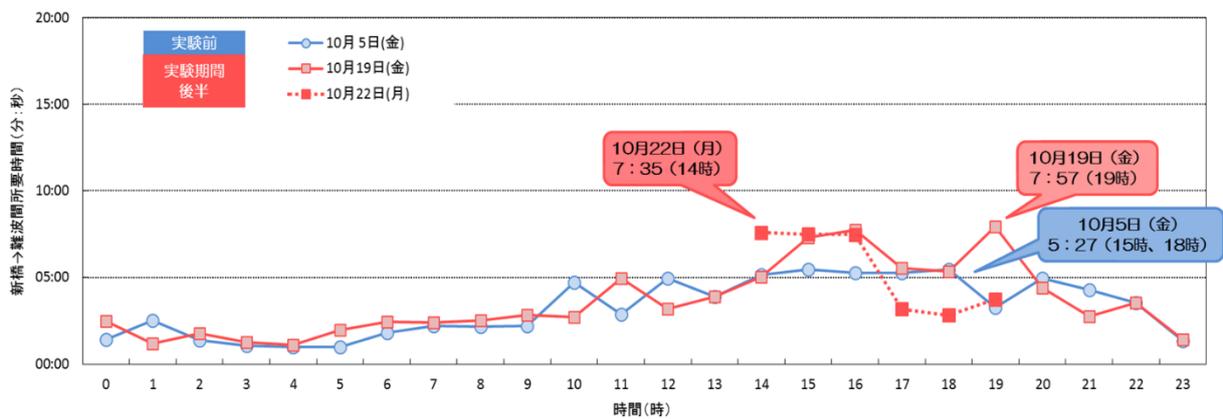
※平均所要時間：7～18時台の所要時間の平均値

※新橋から難波交差点までの最大所要時間は、平日及び休日ともに、実験前に比べ実験前半、後半のいずれも上回ったものの、一方、新橋から道頓堀橋北詰間の平均所要時間（7～19時の12時間）は、実験前に比べ実験前半、後半ともに同程度であった。一つの要因として、道頓堀橋南詰交差点を越えてから第2レーン（左折）から第3レーン（直進）へ移動した直進車両が約5割あったことから、社会実験に伴う規制変更の不慣れにより伸びたものと考えられる。

【実験前半：H30. 10. 9～10. 15】



【実験後半：H30. 10. 16～10. 22】



※調査日

- ・実験前 平日：平成30年10月5日(金) [24時間]
- ・実験前半 平日：平成30年10月15日(月) [24時間]、10月12日(金) [6時間(14時～20時)]
- ・実験後半 平日：平成30年10月19日(金) [24時間]、10月22日(月) [6時間(14時～20時)]

休日

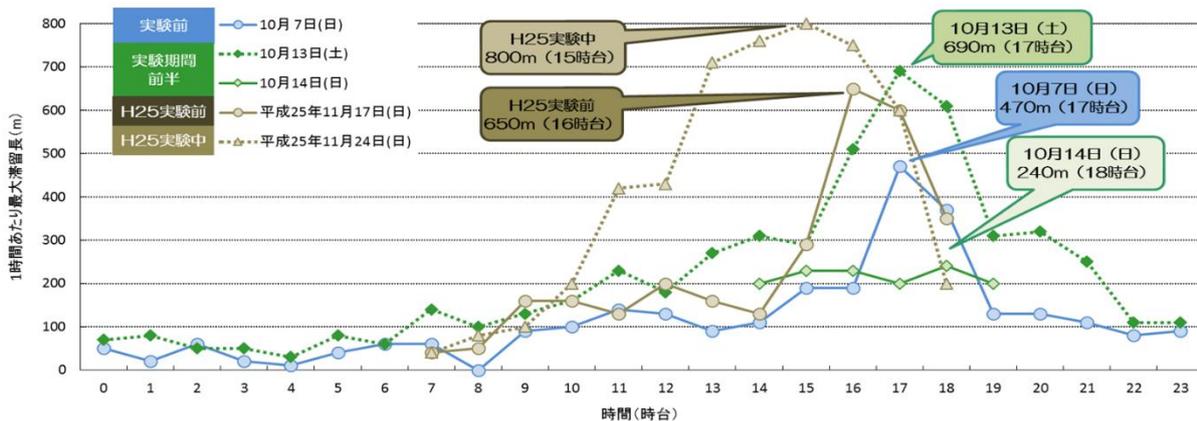
■最大滞留長（難波交差点を起点）

	今回社会実験 (H30)	
	最大滞留長	実験前との差
実験前	470m	
実験前半	690m	+220m
実験後半	640m	+170m

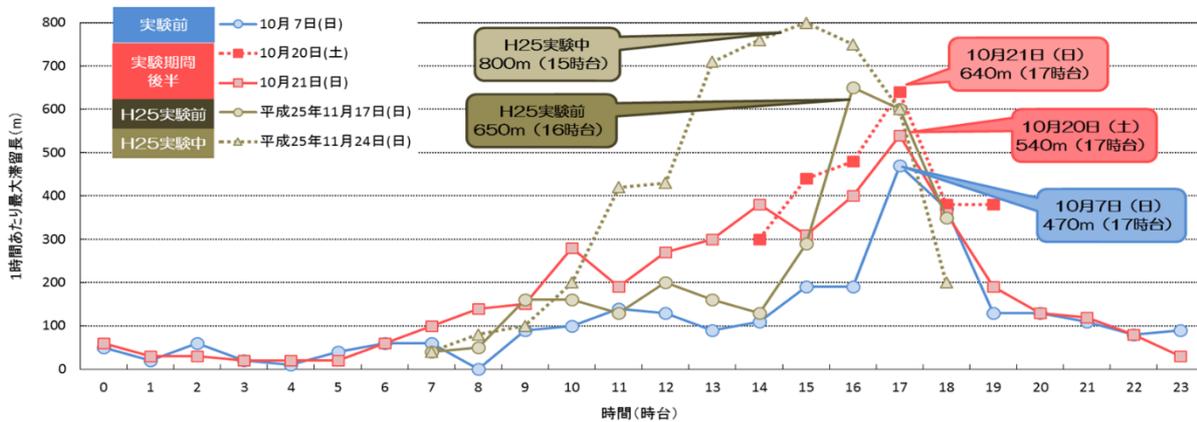
※平成25年度の社会実験では、休日、道頓堀橋南詰交差点付近の閉鎖した東側側道を活用し、にぎわい創出に向けた社会実験を実施。その際、停車スペース利用者への安全対策として、道頓堀橋南詰交差点付近において、本線1車線を閉鎖し、3車線運用したことにより、実験中のデータが実験前に比べ上回った。

	H25 社会実験	
	最大滞留長	実験前との差
実験前	650m	
実験中	800m	+150m

【実験前半：H30.10.9～10.15】



【実験後半：H30.10.16～10.22】



- ※調査日・実験前 休日：平成30年10月7日(日) [24時間]
- ・実験前半 休日：平成30年10月13日(土) [24時間]、10月14日(日) [6時間(14時～20時)]
  - ・実験後半 休日：平成30年10月21日(日) [24時間]、10月20日(土) [6時間(14時～20時)]
  - ・H25実験前 休日：平成25年11月17日(日) [12時間(7時～19時)]
  - ・H25実験中 休日：平成25年11月24日(日) [12時間(7時～19時)]